

京都フードバンク団体と連携 ダンボールで『子ども支援プロジェクト』へ参画

～地域に根差したダンボールメーカーだからこそ出来る社会貢献事例～

日本一サステナブルなダンボール会社を目指す洛西紙工株式会社(所在地:京都市西京区)はこのたび、京都のフードバンク団体である認定NPO法人セカンドハーベスト京都(注1)の『子ども支援プロジェクト』活動に賛同し、ダンボールケースを900世帯分特別価格で提供させていただきました。



←900世帯分のダンボール納品時

『子ども支援プロジェクト』とは、セカンドハーベスト京都が実施する、生活にお困りの子育て世帯を食料提供の形で支援する社会貢献型プロジェクトです。2023年12月には約900件の低所得子育て世帯へ向け支援を行いました。

今後は、梱包材の役目を終えた後に「防災グッズに変身する」ようなお役立ちダンボールでも協力出来ればと企画中です。

地域に根差したダンボールメーカーである当社の事業の強みを活かし、業界の垣根を越えた連携で社会課題解決に取り組んだ事例です。

※注1 認定NPO法人セカンドハーベスト京都様 HP <https://www.2hkyoto.org/>



取組みの背景とその効果

1. 背景

「環境問題以外の社会課題にダンボール会社として役に立てることはないか?」という社員の一言から、

- ① ダンボール原料を安価に仕入れ、一貫製造が可能
- ② 自社配送トラックを持ち、地域配送が可能

という自社事業の強みを活かし、ダンボール資材の協賛という形で認定NPO法人セカンドハーベスト京都様と連携することとなりました。

2. 効果

セカンドハーベスト京都の澤田理事長からは「食料品以外の資材協賛という形でご提案頂いたのは初めて」と仰っていただきました。

毎年『子ども支援プロジェクト』では900ケース近くのダンボールを使用しており、その資材コストはセカンドハーベスト京都様が負担しているのが現状です。

今回は、当社の特別価格協賛により、ダンボール資材コスト総計：約80,000円分が削減可能なご提案となりました。

NPOとしては、必ずかかってくる資材コストの削減と物流効率の向上が図れることにより、食料やお金の寄付と同じくらいのインパクトがある取組みとなります。

会社情報

社名：洛西紙工株式会社
本社所在地：京都府京都市西京区松尾木ノ曾町40
代表取締役：小田 幹夫
事業内容：ダンボールケース・各種什器の製造販売
設立：昭和35年(1960年)
担当者：取締役 小田智英(おだともひで)
HP：<https://rakusaishikou.com/>



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

洛西紙工株式会社 取締役：小田智英 TEL：075-391-8862 MAIL：oda@rakusaishikou.co.jp